



新潟県ソウル事務所発 韓国レポート



2021.3.22

＜第 32 回レポート＞

事務所を移転しました！

ソウルでも、日中はコートが不要になるくらい暖かい日が増え、春が近づいてきたことを実感します。

さて、このたび新潟県ソウル事務所は、オフィス街の商業ビルから徒歩で 10 分ほど離れた文教地区の小型商業ビルに移転し、本県と同様にソウルに事務所を構える宮城県ソウル事務所と同居することになりました。古宮や劇場、学校、大使館等が立地する閑静なエリアです。

これまで、事務所周辺の通行人はビジネスマンが中心でしたが、今回は老若男女様々な世代の人々が行き交い、同じソウル市の中心部とは思えないほどです。事務所内では宮城県とスペースを分け合い、これまで同様、県産品や観光パンフレット等を展示しています。新型コロナウイルス感染症の収束後、ソウルへ出張等される機会がありましたら、ぜひ一度、事務所へお立ち寄りいただければ幸いです。

なお、これまで駐在していた所長・次長の日本人職員は引き揚げ、今後、現地職員 1 名が常勤で業務にあたることとなりましたので、併せてお知らせいたします。



(写真) 徳寿宮裏の貞洞劇場脇のビル(中央奥)に移転しました。
昼や休日には、多くの人が行き交っています。



(新住所)ソウル特別市中区貞洞ギル 35, DOOBEEビル 303号
※以前のプレジデントホテルから西へ 700m ほどです。
※電話+82-2-773-3161, FAX+82-2-773-7464 は変わりません。



(写真) 事務所入口(宮城県と共用。以下同)



(写真) 県産品の展示



(写真) 事務スペース



(写真) 応接スペース